



東京産家具パリでPR

東京商工会議所は21日からフランス・パリで開催されるインテリアとデザイン関連の見本市、「メゾン・エ・オブジェ2011」に、国のJAPANブランド育成支援事業で製作した「東京発、家具。tobi」を出展する。東商がJAPANブランド育成支援事業で海外出展するのは初めて。

東京は家具の量産メーカーがないため産地としての認識は持たれていないが、明治初期からの洋家具製作の歴史・技術がある。東商は地域資源を生かした取り組みとして家具を取り上げ、東京都家具協同組合と協力し、「tobi（都美）」事業を展開している。

2009年に初めて国内

メゾン・エ・オブジェ出展

東商と都家具協組

最大の家具見本市「インテリアライフスタイル・リビング展」に出展。また昨年は東京・新宿で「tobi展」を開催し（写真）好評を得たことから、世界のバイヤーが注目するメゾン・エ・オブジェへの出展を決めた。

ラウンド・ソファ・セツトやダイニング・サイド・チェアー、次世代テーブル、ランプ類など合計約35点を出展。積極的に商談を進める考え。